

シンポジウム「将来の自分を考える」の報告

千葉県若人自立支援機構では、児童養護施設入所中の高校生を対象にしたシンポジウムを開催した。今回は、初めての試みです。

I シンポジウム開催の趣旨

児童養護施設出身者は、住まいと仕事の両方を確保しなければならず、自立に際しては住み込みや社宅付きなどの就職先を求めることの必要性があった。このため、必ずしも適性のある仕事に就業できず、短期間で辞めることになり、仕事を辞めると住まいも失うために、ホームレスや犯罪などへ転落する可能性もある。

そこで、児童養護施設出身者に対して、適性にあった仕事を見つけ、就業を支援していくことが重要な課題と考えられる。

住まいの問題に対しては、協同組合千葉県若人自立支援機構は、敷金などの無担保・無保証の貸付けを行うとともに、低額、無保証による住宅の直接貸出により、支援を行ってきており、今後とも積極的に支援していく予定である。

一方、就業については、施設出身者は、集団での生活に慣れており、円滑な対人関係を維持するための訓練を積んでいるとも言われている。また、親の支援が受けられず、早くから自立しなければならないとの覚悟の上で、在学中からアルバイトをして貯金をしている若者も多く、自力で働いて生きていくための自覚を明確に持っている若者も多くみられる。

そこで、高校在学中から将来の就業先について考え、生涯設計を組み立てていく機会として、児童養護施設の若者に対して下記の通りシンポジウムを開催した。

II シンポジウム「将来の自分を考える」の概要

1. 日時 平成 25 年 2 月 13 日（水） 13：30～16:30

（高校入試のため県立高校は休日）

2. 場所 千葉大学人文社会科学系総合研究棟 2 階 マルチメディア会議室

3. 参加者

(1) 高校 1～3 年生の入所児童 34 名

(2) 施設職員及び関係者 35 名

(3) 講師 8 名

(4) 大学生、大学院生 20 名

合計 97 名

4. プログラム

(1) 基調講演 (40 分)

「二十歳の自分を考える」千葉大学教授 保坂 亨氏

※ 保坂先生の話は10分～15分程度で、その後グループ討議。高校生等をグループに分け、千葉大学の学生が各グループにファシリテーターとして参加。テーマとしては、「大学生になった自分と高校生の頃、自分の進路選択の悩みや夢など」保坂先生が提示してくれたことに基づき、自由に話し合う。

また、施設職員は、高校生とは別にグループ分けをし、各施設の情報交換等をした。

*** ビンゴゲーム 1 ***

(2) パネルディスカッション (60 分)

「養護施設出身者の就業斡旋」

株式会社フェアスタート 代表取締役 永岡鉄平氏

「施設卒園後、福祉施設の指導員になるまでの思いと今後への抱負」

大久保学園 指導員 内山康宏氏

「自立に向けた経済面の生活設計」

自立援助ホーム人力舎 児童指導員 臼井由智氏

司会 房総双葉学園長 小木曾宏氏

*** ビンゴゲーム 2 ***

(3) 専門技術を身につけるための学校紹介 (40 分)

- ・ 淑徳大学総合福祉学部教育福祉学科教授 仲本美央氏
- ・ 独立行政法人労働者健康福祉機構 千葉労災看護専門学校副校長 青木都氏
- ・ NPO 法人共創認定職業訓練校理容科代表 田村一芳氏
- ・ 職業訓練校：千葉県商工労働部産業人材課 川嶋茂雄氏

- * 本シンポジウム開催に当たっては、講師の先生方のほか、千葉大学法経学部の後藤教授、教育学部の新谷教授にも多大なご協力をいただいた。
- * 会場のマルチメディア会議室は、千葉大でも設備の整った最先端の教室で、高校生が千葉大学で講義を受けたということは良い思い出になったと思われる。
- * また、シンポジウム開催前に、大学会館の食堂で千葉大生に混じって昼食をとったことが大きな思い出になった高校生もいたようである。
- * 息抜きにビンゴゲームをいれたものの、3時間を超える長時間のシンポジウムであったが、全く私語もなく、熱心にきていた高校生がほとんどだったことが印象深かった。

Ⅲ 基調講演のグループ討議の概要

ファシリテーターとして参加した千葉大生・大学院生にグループ討議の概要と感想をまとめてもらった。

1班

1 討議の概要

<将来像が明確な子>

- ・高1女子：明るくたくさんしゃべりたそうな雰囲気。保育士を目指している。
- ・高3男子：和食料理店に内定。4月から働き始める。仕事の準備（包丁の使い方など）はしてない。「しなくてはいけない」と思っている。
仕事が始まっても趣味のサッカーを続けていきたい。

<将来像がまだ見つからない子>

- ・とりあえず働く。職種は何でも良い。
- ・全くわからない。
- ・想像できない。
- ・仕事以外にも将来やりたいことがあるか（旅行など）？ → 「わからない」

2 感想

- ・いきなり新しいグループで将来像を話すというのも難しいのかもしれない。
ある程度のアイスブレイクは必要だったように思える。
しかし、夢や将来像が決まっていない子も、大学生や他の夢、将来像を持つ子たちから何らかの刺激が得られたように思える。
- ・「13歳のハローワーク」の様な、まず、どんな仕事があるのかなどもレクチャアしてあげる機会などがあると、将来像を考えられるきっかけになるかもしれないと考える。

2班

1 討議の概要

- ・高3男：野球部時代に肩を壊し、リハビリでお世話になった人に憧れて、スポーツトレーナー（リハビリ系）を目指している。進路決定済み。
今現在、不安なことは一人暮らしと自炊。
- ・高2男：将来は専門に行き、社会福祉士や介護系に進みたいと漠然と考えている。
- ・高2女：9歳離れた妹の世話をしていて、子どもに興味を持ち、保育士を目指している。今現在、不安なことは、ちゃんと保育士になれるのか、大学へ進学後、バイトと勉強の両立が出来るのかの2つ。
- ・高1男：将来は高校卒業後に働きたい。野球部だがプロを目指すわけではなく、自分に合った職に就きたいとのこと。
- ・高1男：将来は働きたい。ただ、まだいろいろな経験も知識もないので何もわからない。これから考えたいとのこと。

2 感想

自分が高校生の時よりも、具体的に将来のことを考えていたので驚きました。初対面でみんな緊張していたけれど、勉強方法でわからないことを質問したり、お互いの将来の話など、人の話をとても一生懸命聞いていたので、将来のことをとても真剣に考えているのが伝わってきました。ただ、もう少し時間があれば、もっといろいろな話をしたり疑問や不安を聞いて、みんなで共有できたので、次回はもう少し時間をとってほしいかなと思いました。

3班

1 討議の概要

- ・高1男：中学生の頃、よく面倒をみてもらった人が自衛隊をやっていた関係から、自分も将来は、自衛隊又は消防士になりたいと考えている。高校も普通科ではなく、工業（商業）科であるため、進学は全く考えておらず、早く働いて、親に恩返しをしたいとのこと。
- ・高1男：理数系科目が得意であり、ゲームなどが好きという理由から、将来はクリエイターになりたいと考えている。しかし、まだ明確に進路をイメージしている訳ではなく、高校を卒業したら、進学か就職するかは検討中とのこと。
- ・高2男：まだ将来に対する目標などはなく、とりあえず大学に進学し、その中で自分のやりたいことを見つけていくとのこと。

2 感想

自らの高校時代と比べてみて、漠然とでも将来の目標をしっかり持っていることに驚かされた。しかし、グループ内において、目標が明確化している子とそうでない子の温度差を感じてしまう部分がたまに見られ、もう少しこちら側から積極的に過去の体験などを話してあげられれば良かったと感じた。お互いの意見交換がなされるまでに時間がかかってしまい、あまり深い話ができなかったのもう少し長い時間をかけて討議をしたかったと感じた。

（4班は人数の関係で、他の班に編入）

5班

1 討議の概要

お互いの自己紹介をし、まずは大学生側の話をした。質問などなかったのもう次に高校生たちに話をしてもらった。全員で4名いたが、皆将来の目標を明確に持っていた。

高2（女）：将来造園師を目指していて、卒業後は造園の専門学校に行きたい希望

高2（男）：将来社会福祉士の資格を取得し、いろいろなところで働きたい。

高3（男）：美容学校入学決定。将来美容師になる。

高3（女）：国際系大学入学決定。卒後は医療系で再進学して、「国境なき医師団」に興味

あり。

2 感想

4人とも将来設計をしっかりとっていて、こちらにも逆に刺激をいただきました。また、4人のうち2人が「人の役に立ちたい」という意志を持っていることが印象的でした。

6班

1 概要

大学生の自分の話をしました。フラットな場は作れましたが、休み時間的なコミュニケーションで、本来の目的には至れなかった感じです。

2 感想

あまり興味なさそうに見えて、質問もなくて、フラットな場の形成がすごく困難に思えました。

7班

1 概要

就きたい就業：美容師、漁師、農家、女優、部活、遊び

アイドル：AKB48 雑談です。消えた年金

- ・高卒認定試験があることを、中退の子が知らなくて、話したら、興味を持ったみたいでした。
- ・高校が無事卒業できるか、友達が周りにいない都内に出て行くことなどに、女の子は不安を抱えていたようです。
- ・それぞれが、それぞれに悩んで、考えて、答えを出そうとしているんだろうなと思いました。

2 感想

自分から高校の様子を聞くことが多かった。

ゲームのことを気軽に聞いてもいいのかと思った。持っているかどうか。ふれな
い方がいい話題なのか。

大学生から高校生へ質問することの方が多かったが、何を聞いてよくて、何を聞かない方が良いのかがよくわからず、当たり障りのないことしか話せなかったのも、反省
しています。

少しでも何か得ることがあればいいなと思いました。

良い経験になりました。ありがとうございます。

8班

1 概要

- ・専門などいくのに、高校時代にどれくらいお金を貯めればよいか

- ・高校の雰囲気（校則、資格など）
- ・進路をどうする予定か
- ・大学の雰囲気：ミスコンとか、彼女・彼氏できるか

2 感想

- ・お金のことが具体的に出てきたのは、やはりなというか面食らいました。
- ・もう少し時間があればいろいろ話せたかなと思います。緊張であまり話せず、申し訳なかったです。
- ・私自身本当にとっても楽しく話せたなと思います。私が思っていたよりも夢を明確に語る子がいたのは驚きました。私自身考えることは多かったです。もう少し話したかったなとは思っています。